

## 第5学年 社会科学習指導案

### 1 単元名 こめづくりのさかんな地域

### 2 単元の目標

稲作の発展について考える力や考えた事を表現する力を養う。

### 3 本時の学習

#### (1) 目標

農業機械を使用することの利便性について考える事ができる。

#### (2) プログラミングを取り入れる効果

embot を動かす活動を通して、単純に「農業機械は便利」というだけでなく、プログラムの仕方やその良さについても気づくことができる。

#### (3) 展開

学習活動	・指導上の留意点 (◇評価)
<p>1 農業には様々な種類の農業機械が使われていることを確かめる。</p> <p>2 本時のめあてや学習課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">田植えをするためのプログラミングを考えよう。</p> </div> <p>3 embot のプログラミング方法を確認する。</p> <p>4 グループごとに「まっすぐ進み, Uターンする」プログラミングについて考えながら, プログラムする。</p> <p>5 本時のまとめ</p>	<p>・既習の米作りや野菜作りをする家庭を確認しながら, どんな農業機械があったか確認していくようにする。</p> <p>・Makeblock アプリを利用し, 「ドライブモード・描いて走るモード・コードモード」の順で embot を動かしてみる。</p> <p>・田植えをするためにはどういう動きをすれば良いか考えさせながらプログラミングする。</p> <p>◇プログラムの仕方やその良さについて気づき。農業機械を使用することの利便性を考えている。</p>

### 4 本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	プログラムの仕方やその良さについて理解し, 農業機械を使用することの利便性に気付く。
「おおむね満足できる」状況を実現するための手立て	プログラムの仕方やその良さについて気づき, 農業機械を使用することの利便性を考えている。